

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

平成 27 年度研究発表会開催報告書

都市計画に関する日頃の研究内容や実践活動を発表する機会を広く設けるために、昨年の第 3 回に引き続き支部研究発表会を開催しました。研究論文に加え、都市・地域づくりの現場における実用性に寄与する実務報告や実践報告もあり、都市計画に関連する分野の方々の情報交換や交流の場として大いに役立ったと考えています。以下、開催概要を報告いたします。

平成 27 年 11 月

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

支 部 長 田 村 亨

1. 実施概要

(1)日時 平成 27 (2015) 年 10 月 31 日 (土)

13:00 開会

13:05 ポスターセッション

14:00 基調講演

15:00 研究発表セッション

17:00 閉会

(2)会場 札幌学院大学社会連携センター

(札幌市中央区大通西 6 丁目 (南大通) 札幌学院大学社会連携センタービル)

(3)研究発表の形式

ポスターセッション形式、および発表セッションによるプレゼンテーション

(4)開催内容

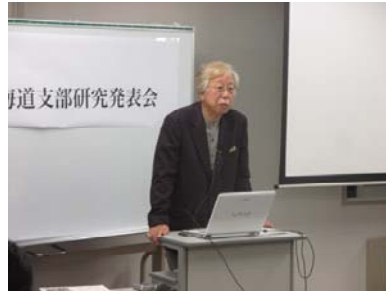
北海道支部研究発表会では、地域資源を活かしたまちづくり、都市文化、地方分権、サステイナブル、参加と組織、都市・地域の再生、都市・地域経営、観光、交通、ランドスケープ、海外都市計画などをはじめとする、広く建築、土木、造園及び関連分野の都市計画に関する計画、デザイン、分析、調査、事業等についてのポスターを募集し、応募者自身が公開の場でそのポスター発表を行い、その一部についてはプレゼンテーション（口頭発表）を行っていただいた。

発表ポスターは、これまでどおり都市計画に関するあらゆる内容について「一般部門」として募集したが、このほかに「テーマ部門」として「観光とまちづくり部門」を設定し、潜在する発表者の掘り起こしを図った。

平成 26 年度より 5 年間については、研究発表会での議論の活性化と積み重ねを図ることを目的として、「都市と田園」を統一テーマに設定している。その上で毎年、特に注目して議論すべきサブテーマを設けることとし、本年度は「観光とまちづくり」を取り上げた。



ポスターセッション



基調講演



研究発表セッション

(5)参加者 65名

(6)参加費 500円(資料代)

(7)後援

一般社団法人日本建築学会北海道支部、公益社団法人土木学会北海道支部、
公益社団法人日本造園学会北海道支部、北海道都市地域学会、
一般社団法人日本計画行政学会北海道支部、北海道地域観光学会、
特定非営利活動法人日本都市計画家協会北海道支部、
北海道市長会、北海道町村会、北海道開発局、北海道、札幌市

(8)実行委員会

実行委員長：西山徳明(北海道大学)

実行副委員長：小篠隆生(北海道大学)

委員：愛甲哲也(北海道大学)

坂井文(10月より東京都市大学に転任)

八百板季穂(北海道大学)

村上佳代(北海道大学)

中村圭市(ドーコン)

生沼貴史(ドーコン)

麻生美希(10月より九州大学に転任)

松岡佳秀(北海道庁)

村瀬利英(札幌市)

アドバイザー：竹内正信(北海道開発局)

(9)実行委員会事務局 担当：八百板季穂、村上佳代、麻生美希

Tel：011-706-5410

Mail：kenkyu@cats.hokudai.ac.jp

2. 受賞者

(1) 支部長賞

農業を基幹産業とした自治体における観光まちづくりに関する研究
～北海道美瑛町における観光マスタープラン策定を通じて～

◎麻生美希（九州大学人間環境学研究院）、石黒侑介、花岡拓郎、村上佳代、西本哲史

(2) 特別賞

ヨルダン国サルト市における地域資源を生かした観光開発に関する研究

◎村上佳代（北海道大学観光学高等研究センター）

(3) 「一般」部門

=優秀賞=

農村・自然域の電線電柱類が景観に与える影響の評価分析手法について

◎岩田圭佑（国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所地域景観ユニット）、
松田泰明、小栗ひとみ

=学生奨励賞=

市電沿線改造論その1、その2

－市電沿線改造メソッド－

◎山崎嵩拓（北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻）、今瀧亜久里、
新谷綾一郎、小池温絵、花房総一郎、大野由有紀、山本郁也

(4) 「観光とまちづくり」部門

=優秀賞=

産学官連携による観光まちづくりの取組

－「札幌でしかできない50のこと」ガイドマップ作成－

◎森有史（札幌市観光文化局観光コンベンション部）、和田康広、工藤奈津子

=学生奨励賞=

札幌における子供人形劇を生かした観光創造に関する研究

◎黄秀景（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻）

3. ポスターセッション研究発表タイトル

(1) 「一般」部門

NO.	タイトル&発表者
1	走行実験からみた田園地域における道路のシークエンス景観の評価について -シーニックバイウェイ大雪富良野ルートにおける被験者実験から- ◎松田泰明（国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所地域景観ユニット）、 兵庫利勇、二ノ宮清志
2	「新・札幌市バリアフリー基本構想」の見直し ◎阿部慎也（札幌市市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課）
3	再開発地区と既成市街地におけるエリアマネジメントの展開に関する一考察 -札幌市における2つのエリアマネジメントに着目して- ◎花房総一郎（北海道大学工学院空間性能システム専攻都市計画研究室）、坂井文
4	農村・自然域の電線電柱類が景観に与える影響の評価分析手法について ◎岩田圭佑（国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所地域景観ユニット）、 松田泰明、小栗ひとみ
5	大通交流拠点地下広場の整備 -ゆとりある歩行動線と滞留空間の創出- ◎笹森長武（札幌市市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室）
6	市電沿線改造論その1 -市電沿線改造メソッド- ◎山崎嵩拓（北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻）、今瀧亜久里、 新谷綾一郎、小池温絵、花房総一郎、大野由有紀、山本郁也
7	市電沿線改造論その2 -市電沿線改造プロポーザル- ◎山崎嵩拓（北海道大学大学院工学院空間性能システム専攻）、今瀧亜久里、 新谷綾一郎、小池温絵、花房総一郎、大野由有紀、山本郁也
8	札幌市・創成川公園の計画及び管理段階における市民参加の課題と展望について ◎小池温絵（北海道大学工学院）、坂井文
9	真駒内駅前地区のまちづくりについて -市有施設の更新を契機とした土地利用再編の促進と、それに併せたエリアマネジメント構築の試み- ◎西山健一（札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課）
10	景観形成等の取組みの効果・発現の考え方とその評価手法に関する提案 -景観が地域にもたらす効果の発現プロセスモデルの提案について- ◎笠間聡（国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所地域景観ユニット）、松田泰明

(2) 「観光とまちづくり」部門

NO.	タイトル&発表者
11	札幌における子供人形劇を生かした観光創造に関する研究 ◎黄秀景（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻）
12	「江差町歴史文化基本構想」策定の取り組み ◎宮原浩（江差町教育委員会）
13	文化遺産を活用した「エコミュージアム」概念の適用に関する研究 －気仙沼市・内湾地区における災害復興の取り組み ◎佐々木岳（ユースフル函館、北海道教育大学教育学部国際地域学科）、菊池和佳奈、佐伯かな子、平井健文、池ノ上真一
14	帯広都市圏における農業等の地域産業に着目した広域景観特性に関する研究 ◎山崎嵩拓（北海道大学工学院）、坂井文
15	エコツーリズムによる地域への影響 －岩手県二戸市足沢地区と埼玉県飯能市白子地区の事例－ ◎西村公一（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻）
16	地域生態システムの再生を目的とした観光の活用に関する研究 －北海道知内町小谷石地区におけるハネモノ・コンブの資源化を目的として－ ◎青野朋晃（ユースフル函館、北海道教育大学函館校）、小野寺聖、菊池和佳奈、多田里奈、田邊絵夢、野戸早苗、池ノ上真一
17	ヨルダン国サルト市における地域資源を生かした観光開発に関する研究 ◎村上佳代（北海道大学観光学高等研究センター）
18	台湾における文化創意産業園区の観光の価値に関する研究 －花蓮文化創意産業園区を例として－ ◎陳偉軒（北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院観光創造専攻）
19	西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産保存と復興 －観光をとおしたまちづくりの可能性－ ◎田代亜紀子（北海道大学メディア・コミュニケーション研究院）、竹内泰、脇田祥尚
20	札幌におけるエコミュージアムの可能性 ～さっぽろの魅力と市民参画で築く観光まちづくり～ ◎中林光司（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻）、西山徳明
21	産学官連携による観光まちづくりの取組 －「札幌でしかできない50のこと」ガイドマップ作成－ ◎森有史（札幌市観光文化局観光コンベンション部）、和田康広、工藤奈津子
22	農業を基幹産業とした自治体における観光まちづくりに関する研究 ～北海道美瑛町における観光マスタープラン策定を通じて～ ◎麻生美希（九州大学人間環境学研究院）、石黒侑介、花岡拓郎、村上佳代、西本哲史

4. 基調講演

【論 題】 観光を観光事業者から住民のものへ 茶谷流まち歩きのかえ方と実践
～『長崎さるく博』と『大阪あそ歩』の事例から

【講 師】 茶谷 幸治 氏（ツーリズム・プロデューサー）

【内 容】 日本で初めてのまちあるき博覧会である「長崎さるく博」（2006年）と、「まち歩き」と「まち遊び」という手段によってまちを知り、生活に触れ、大阪の魅力を発信する「大阪あそ歩」（2008年～）。この2つのプロジェクトにプロデューサーとして関わってこられた茶谷幸治氏を招き、まちの面白さを市民とともに掘り起こし活用する観光まちづくりの取り組みについてご講演いただいた。この「まち歩き」という手法は、その集客力はさることながら、市民の地域への愛着や人と人とのつながりを生み出し、ムーブメントとして大阪や名古屋に広がっている。また、「大阪あそ歩」は行政主導型ではない市民活動組織が自立的に運営する仕組みを構築するなど、さらなる進化を遂げている。そうした事例での貴重な知見としてコミュニティ・ツーリズムの課題と対策についてご教示いただき、今後の北海道観光に生かしていく方法を探った。

5. 研究発表セッション

テーマ説明
<p>日本都市計画学会北海道支部研究発表会は、本年度で第4回を迎えます。2014度からの5年間は、議論の活性化と積み重ねを図るため、「都市と田園」を統一テーマに設定しています。この統一テーマの下、地域資源を活かしたまちづくり、都市文化、地方分権、サステイナブル、参加と組織、都市・地域の再生、都市・地域経営、観光、交通、ランドスケープ、海外都市計画など広く建築、土木、造園及び関連分野の都市計画に関する計画、デザイン、分析、調査、事業等についての発表ポスターを募集しました。またこうした都市計画に関するあらゆる内容を「一般部門」として募る一方で、5年間の2年目に当たる本年度は「観光とまちづくり」のサブテーマを設定し、潜在する発表者の掘り起こしを試みました。その結果、22の研究論題（一般部門：10題、観光とまちづくり部門：12題）の投稿がありました。この多様な研究・事業成果報告者が一堂に会してポスターセッションをおこなった後、実行委員会より事前に依頼した発表者の方々による両部門ごとの討議セッションを設けることで議論の深化を図ることとしました。みなさまの活発なご議論を期待します。</p> <p style="text-align: right;">公益社団法人日本都市計画学会北海道支部副支部長・研究発表会実行委員長 西山 徳明</p>

発表セッション1. 「一般」部門		
	コーディネーター：麻生美希	コメンテーター：坂井文
時間	発表者、連名者	タイトル
○発表時間：7分/題 ○発表後に簡単な質疑 ○全員の発表と個別質疑が 終了後、総合討議 (15-20分程度)	松田泰明 兵庫利勇 ニノ宮清志	走行実験からみた田園地域における道路のシークエンス景観の評価について -シーニックパイウェイ大雪富良野ルートにおける被験者実験から-
	花房総一郎 坂井文	再開発地区と既成市街地におけるエリアマネジメントの展開に関する一考察 -札幌市における2つのエリアマネジメントに着目して-
	笹森長武	大通交流拠点地下広場の整備 -ゆとりある歩行動線と滞留空間の創出-
	山崎嵩拓 今瀧亞久里 新谷綾一郎 小池温絵 花房総一郎 大野由有紀 山本郁也	市電沿線改造論その1 -市電沿線改造メソッド- / 市電沿線改造論その2 -市電沿線改造プロポーザル-

発表セッション2. 「観光とまちづくり」部門		
	コーディネーター：西村公一	コメンテーター：池ノ上真一
時間	発表者、連名者	タイトル
○発表時間：7分/題 ○発表後に簡単な質疑 ○全員の発表と個別質疑が 終了後、総合討議 (15-20分程度)	黄秀景	札幌における子供人形劇を生かした観光創造に関する研究
	宮原 浩	「江差町歴史文化基本構想」策定の取り組み
	青野朋晃 小野寺聖 菊池和佳奈 多田里奈 田邊絵夢 野戸早苗 池ノ上真一	地域生態システムの再生を目的とした観光の活用に関する研究 -北海道知内町小谷石地区におけるハネモノ・コンプの資源化を目的として-
	田代亜紀子 竹内泰 (東北工業大学) 脇田祥尚 (近畿大)	西スマトラ州パダン歴史地区における文化遺産保存と復興 -観光をとおしたまちづ

学)	くりの可能性ー
森有史 和田康広 工藤奈津子	産学官連携による観光まちづくりの取組 ー「札幌でしかできない50のこと」ガイドマップ作成ー
麻生美希 石黒侑介 花岡 拓郎 村上佳代 西本哲史	農業を基幹産業とした自治体における観光 まちづくりに関する研究 ー北海道美瑛 町における観光マスタープラン策定を通じ てー

以 上